

定期作況報告

平成18年5月
(5月20日現在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

1) 前年9月以降の経過

9月：平均気温は上旬は平年よりやや高く、中旬は平年より高く、下旬では平年並であり、月平均は16.0℃で平年より+1.2℃とやや高かった。降水量の月合計は145.5mmで平年並であった。日照時間の月合計は159.0時間で平年よりやや多かった。

10月：平均気温は上旬では平年よりやや高く、中旬では平年より極めて高く、下旬では平年よりやや高く、月平均は10.0℃で平年より+1.5℃とやや高かった。降水量の月合計は25.5mmで平年より少なかった。日照時間の月合計は179.2時間で平年並であった。

11月：平均気温は上旬では平年より極めて高く、中旬・下旬では平年並であり、月平均は2.1℃で平年より+0.9℃と平年よりやや高かった。降水量の月合計は56.5mmで平年よりやや多かった。日照時間の月合計は147.2時間で平年並であった。

2) 根雪期間中の経過

12月：平均気温の月平均は-7.4℃で平年より-0.2℃で平年並であった。降水量の月合計は102.0mmで平年より極めて多かった。

1月：平均気温の月平均は-10.9℃で平年より-1.4℃でやや低かった。降水量の月合計は23.0mmで平年より少なかった。

2月：平均気温の月平均は-7.9℃で平年より+1.3℃でやや高かった。降水量の月合計は47.5mmで平年よりやや多かった。

3月：平均気温の月平均は-2.0℃で平年より+1.7℃で高かった。降水量の月合計は78.5mmで平年より多かった。

3) 融雪期以降の経過

4月：平均気温は上旬・中旬は平年より極めて低く、下旬は平年より低かった。日平均気温の月平均は1.7℃で平年より-2.9℃と極めて低かった。降水量は各旬とも平年より極めて多く、月合計は98.0mmであった。日照時間は上・中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年並であり、月合計は115.2時間で平年よりやや少なかった。

5月：平均気温は上旬では平年並、中旬では平年より極めて高かった。降水量は上・中旬とも平年並であった。日照時間は上旬・中旬とも平年より多かった。

なお、根雪始は平年より5日遅い12月5日、融雪期は平年より10日遅い4月21日で、根雪期間は平年より5日間長い138日間であった。耕鋤始は平年より12日遅い5月7日であった。

注) 降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、平年比±20%を平年並み、±20～40%を平年よりやや多い(少ない)、±40～100%を平年より多い(少ない)、+100%以上を平年より極めて多いとした(2005年10月表現方法を改正)。

4) 季節表

項目 年次	初霜 月.日	降雪始 月.日	根雪始 月.日	融雪期 月.日	根雪期間 日数	耕鋤始 月.日	降雪終 月.日	晩霜 月.日
本年	平成17年 10. 7	11. 6	12. 5	平成18年 4.21	138	5. 7	5. 2	5. 7
平年	10.10	10.30	11.30	4.11	133	4.25	4.29	5.17
比較	△ 3	7	5	10	5	12	3	△ 10

注) 観測は北見農試(訓子府町弥生)で行い、平年値は前10か年の平均値である。

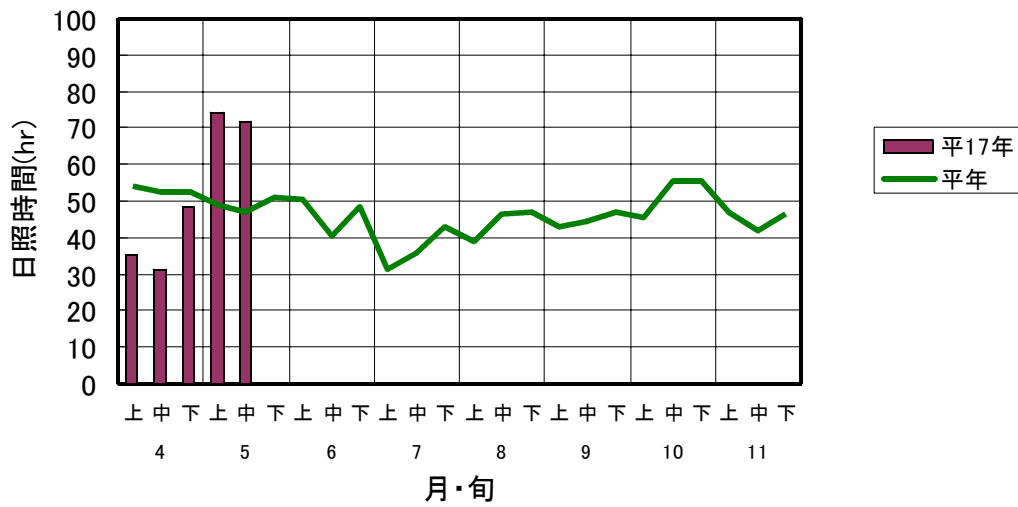
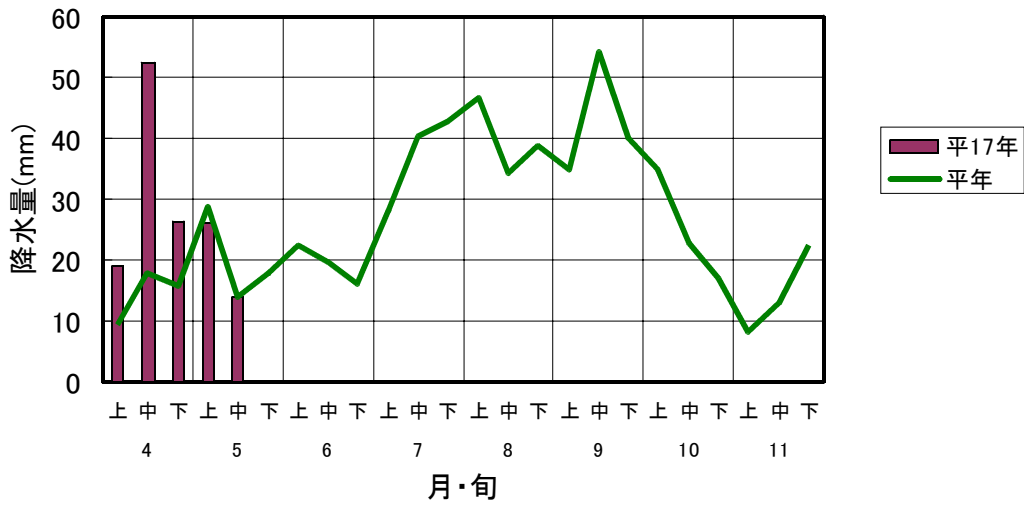
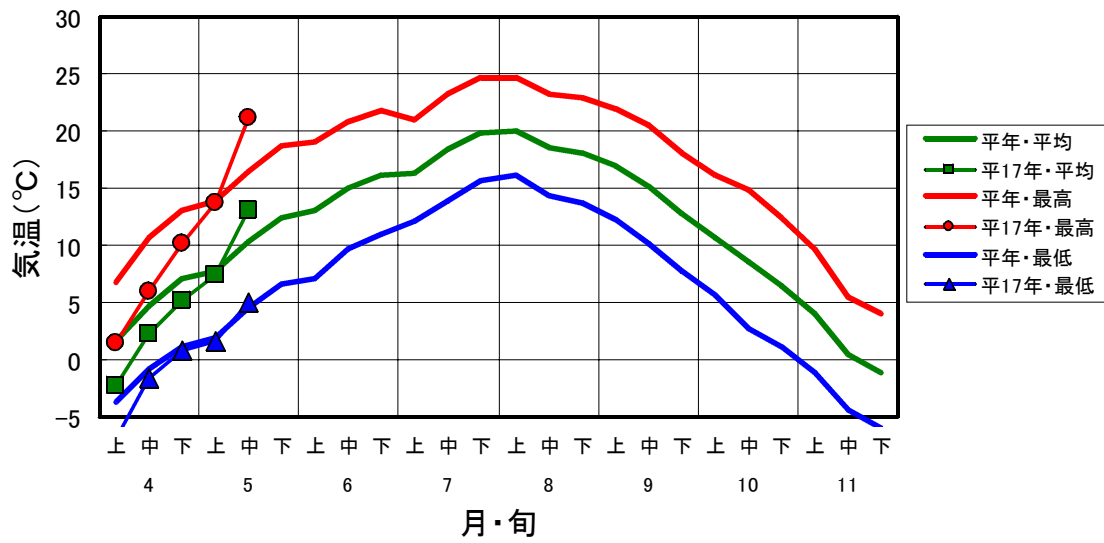
5) 気象表

月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9上	18.2	16.9	1.4	24.1	21.7	2.3	12.4	12.2	0.1	127.5	36.8	90.7	50.1	41.3	8.8
9中	16.6	15.0	1.6	22.5	19.9	2.7	11.2	10.5	0.7	12.5	65.3	△ 52.8	56.8	38.6	18.2
9下	13.3	12.8	0.5	18.7	18.0	0.7	7.9	7.9	△ 0.1	5.5	48.9	△ 43.4	52.1	43.6	8.5
10上	11.8	10.5	1.3	18.4	16.1	2.3	5.1	5.4	△ 0.3	6.5	32.6	△ 26.1	56.7	44.7	12.0
10中	11.2	8.5	2.7	17.3	14.6	2.8	6.0	2.7	3.3	4.0	18.5	△ 14.5	70.0	51.2	18.8
10下	7.4	6.5	0.9	13.2	12.4	0.8	2.7	1.2	1.5	15.0	18.2	△ 3.2	52.5	54.6	△ 2.1
11上	7.3	3.8	3.5	13.6	9.6	4.0	1.8	-1.8	3.6	31.0	7.2	23.9	55.2	49.5	5.7
11中	-0.1	0.5	△ 0.5	5.3	5.6	△ 0.3	-3.8	-4.6	0.8	4.5	12.7	△ 8.2	48.3	42.1	6.2
11下	-0.9	-1.1	0.2	3.4	3.8	△ 0.4	-5.4	-5.8	0.4	21.0	24.4	△ 3.4	43.7	42.7	1.0
12上	-4.8	-5.2	0.4	0.1	-0.1	0.2	-9.5	-10.3	0.8	18.0	16.0	2.0	42.0	39.7	2.3
12中	-7.2	-7.4	0.2	-2.3	-1.8	△ 0.5	-12.8	-12.7	△ 0.1	55.0	8.7	46.3	28.0	43.4	△ 15.4
12下	-10.0	-8.5	△ 1.5	-4.3	-2.8	△ 1.5	-15.8	-14.1	△ 1.7	29.0	12.6	16.5	39.8	47.5	△ 7.7
1上	-11.9	-8.8	△ 3.1	-5.7	-2.9	△ 2.7	-17.0	-14.7	△ 2.3	11.0	15.5	△ 4.5	48.1	38.5	9.6
1中	-11.3	-9.6	△ 1.7	-4.8	-4.1	△ 0.7	-17.5	-15.5	△ 2.0	10.0	16.8	△ 6.8	33.0	36.4	△ 3.4
1下	-9.6	-10.4	0.7	-3.5	-4.4	0.9	-16.0	-16.5	0.5	2.0	22.3	△ 20.3	58.1	49.0	9.1
2上	-11.8	-9.5	△ 2.3	-6.3	-3.6	△ 2.7	-18.5	-15.9	△ 2.7	7.0	6.5	0.5	34.4	48.5	△ 14.1
2中	-8.1	-10.2	2.1	-1.8	-3.8	2.0	-16.5	-16.9	0.4	7.0	13.0	△ 6.0	36.7	45.6	△ 8.9
2下	-2.6	-8.3	5.8	2.9	-1.8	4.6	-9.4	-15.3	5.9	33.5	9.1	24.4	41.2	50.4	△ 9.2
3上	-4.3	-7.0	2.7	0.5	-1.2	1.7	-10.4	-13.6	3.3	25.5	15.6	9.9	43.9	51.1	△ 7.2
3中	-1.4	-3.7	2.4	3.1	1.5	1.6	-7.7	-10.0	2.3	6.0	8.5	△ 2.5	49.6	53.1	△ 3.5
3下	-0.6	-0.9	0.4	2.6	4.1	△ 1.5	-4.1	-6.6	2.5	47.0	19.3	27.7	41.9	66.4	△ 24.5
4上	-2.3	1.6	△ 3.9	1.5	6.7	△ 5.3	-6.9	-3.8	△ 3.1	19.0	9.5	9.5	35.2	54.0	△ 18.8
4中	2.3	4.7	△ 2.5	6.0	10.6	△ 4.7	-1.6	-0.8	△ 0.8	52.5	18.0	34.5	31.3	52.4	△ 21.1
4下	5.1	7.0	△ 1.9	10.1	13.1	△ 3.0	0.8	1.1	△ 0.3	26.5	15.9	10.6	48.7	52.3	△ 3.6
5上	7.4	7.8	△ 0.4	13.7	13.9	△ 0.2	1.5	1.9	△ 0.4	26.0	28.8	△ 2.8	74.4	49.2	25.2
5中	13.1	10.3	2.8	21.1	16.4	4.7	4.9	4.5	0.5	14.0	13.8	0.2	71.5	47.1	24.4

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる。平年値は前10か年の平均値である。

日最高気温、日最低気温は、アメダスの毎正時観測値(1時から24時までの24個)から算出したものである。一方、気象庁発表の値は平成15年1月1日の値から10分ごとの観測値(0時10分から24時までの144個)による新たな算出方法に変更されており、ここに記載した値とは一致しない。10分値を用いた日最高気温は毎正時の観測値を用いたものより平均して0.3℃高く、日最低気温は0.2℃低くなる傾向がある。詳細は気象庁ホームページ(http://www.data.kishou.go.jp/rank_ch_info.htm)参照。

6) 気象経過のグラフ



2. 当場の作況^{注)}

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：平年並

事由：播種期はほぼ平年並であった。播種後の気温は10月下旬を除き高く推移したため、出芽は良好で、越冬前の生育は草丈、茎数とも平年を大きく上回った。根雪始は12月5日で平年より5日遅かった。融雪期は平年より10日遅い4月21日となり、根雪期間は平年より5日長い138日間であった。調査圃場を含め融雪剤を撒布した圃場は4日程度融雪が早かった。雪腐病は軽微な発生が認められたが、現時点での生育に影響は無かったものと思われる。融雪期以降、気温は低く推移したが、5月中旬以降、気温は概ね高く推移したため生育は回復し、草丈はほぼ平年並で、茎数は分けつの無効化が進み、平年をやや下回っている。

以上のことから現在の作況は「平年並」である。

調査項目	タクネコムギ			ホクシン			ホロシリコムギ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (平成17年月.日)	9.16	9.15	1	9.16	9.17	△ 1	9.16	9.16	0
出芽期 (平成17年月.日)	9.22	9.24	△ 2	9.22	9.25	△ 3	9.22	9.24	△ 2
草丈(cm) (平成17年11月20日)	23.0	21.9	1.1	23.1	20.0	3.1	23.7	21.1	2.6
草丈(cm) (平成18年5月20日)	41.0	40.8	0.2	40.5	38.7	1.8	40.2	44.3	△ 4.1
茎数(本/㎡) (平成18年11月20日)	2301	2066	235	1896	1615	281	2154	1807	347
茎数(本/㎡) (平成18年5月20日)	1224	1338	△ 114	1217	1307	△ 90	1269	1348	△ 79

注) 平年値は前7か年中、「タクネコムギ」、「ホクシン」は平成14年、15年、「ホロシリコムギ」は平成11年、15年を除く5か年の平均。「ホクシン」の播種量は255粒/㎡、その他の品種の播種量は340粒/㎡。

2) 春まき小麦 作況：やや不良

事由：融雪期が遅れたため、播種期は4月27日で平年より5日遅かった。播種後は低温傾向が続き、出芽期は5月9日で平年より3～4日遅れた。そのため、草丈・茎数ともに平年を下回っている。

以上のことから現在の作況は「やや不良」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	4.27	4.22	5	4.27	4.22	5
出芽期 (月.日)	5.9	5.5	4	5.9	5.6	3
草丈(cm) (5月20日)	13.3	17.0	△ 3.7	13.3	18.1	△ 4.8
茎数(本/㎡) (5月20日)	345	457	△ 112	360	434	△ 74

注) 「ハルユタカ」の平年値は過去7か年中、平成12年(最凶年)、平成17年(最豊年)を除く5か年平均。「春よ恋」の平年値は過去5か年中、平成14年(最凶年)、平成17年(最豊年)を除く3か年平均。

3) てんさい

作 況：平年並

事 由：移植栽培の播種期は平年より6日早い3月20日であった。移植期は5月9日で、平年より1～2日遅かった。移植時における苗の生育量（肉眼による観察）は、育苗中期が低温に経過したため、ほぼ平年並であった。移植後に適度な降雨があったため、移植後の活着も順調である。直播栽培では播種期は5月9日で平年並で、直播の出芽期は5月18日で平年並であった。

以上のことから現在の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.20	3.26	△6	3.20	3.26	△6	5.9	5.8	1
移植期 (月.日)	5.9	5.7	2	5.9	5.8	1		—	
出芽期 (月.日)		—			—		5.18	5.19	△1

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成11年、17年、「アーベント」は平成11年、16年、直播「モノホマレ」は平成11年、16年をそれぞれ除く5か年の平均。

4) 牧草(チモシー)

作 況：やや不良

事 由：融雪期が遅れ、4月下旬まで低温で不順な天候が続いた。このため、萌芽期は平年よりやや遅く、冬損程度は平年よりやや高かった。5月18日現在の被度は平年並だが、草丈は平年よりやや低い。

以上のことから現在の作況は「やや不良」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
萌芽期 (月.日)	4.21	4.17	4
冬損程度	2.0	1.3	0.7
被度(%)	(5月18日) 100	100	0
草丈(cm)	(5月18日) 35	39	△4

注) 平年値は前4か年の平均（耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため）。

冬損程度は1: 無または微～9: 甚。

5) たまねぎ

作 況：平年並（参考）

事 由：播種期は晩生種「スーパー北もみじ」では平年より4日早い3月9日、早生種「改良オホーツク1号」では平年より6日早い3月3日であった。播種後は高温に推移し、出芽期は「スーパー北もみじ」では平年より5日早い3月22日、「改良オホーツク1号」では平年より5日早い3月16日であった。育苗期間中はやや低温に推移したが苗生育は順調であった。移植期は「スーパー北もみじ」では平年より1日早い5月12日、「改良オホーツク1号」では平年より5日早い5月6日であった。移植時の苗質は「スーパー北もみじ」、「改良オホーツク1号」ともほぼ平年並であった。

以上のことから現在の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.3	3.9	△6	3.9	3.13	△4
出芽期 (月.日)	3.16	3.21	△5	3.22	3.27	△5
移植期 (月.日)	5.6	5.11	△5	5.12	5.13	△1
草丈(cm) (5月20日)	26.2	26.2	0.0	25.4	22.2	3.2
生葉数(枚) (5月20日)	3.2	3.1	0.1	3.2	3.0	0.2
葉鞘径(mm) (5月20日)	4.2	3.9	0.3	4.0	4.0	0.0

注) 平均値は、沖積土壌で試験を開始した平成15年から平成17年までの3か年の平均。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積(m ²)	反復	前作物	畦幅 cm	株間 cm	一株 本数	播種粒数 粒/m ²	播種量 kg/10a	株数 株/10a
1.秋まき小麦	6.0	4	緑肥大豆	30.0	条播	—	340(255)	—	—
2.春まき小麦	7.2	4	シロカラシ	30.0	条播	—	340	—	—
3.とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	—	—	7,491
4.大豆	9.6	3	秋まき小麦	60.0	20.0	2	—	—	8,333
5.小豆	9.6	3	秋まき小麦	60.0	20.0	2	—	—	8,333
6.菜豆	9.6	3	秋まき小麦	60.0	20.0	2	—	—	8,333
7.ばれいしょ	37.8	3	とうもろこし	75.0	30.0	1	—	—	4,444
8.てんさい	100	3	秋まき小麦	60.0	23.8	1	—	—	7,003
9.牧草(チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	—	—	2.0	—
10.たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	—	—	31,750

注) 秋まき小麦の播種粒数欄の()は「ホクシン」の播種粒数を示す。

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1.秋まき小麦	6+3	200	9.6	4.0	3,000	炭カル：150	2年目草地
2.春まき小麦	10.0	180	120	5.0			
3.とうもろこし	14.0	220	120	4.0			
4.大豆	1.8	200	7.8	3.0			
5.小豆	4.0	200	11.2	4.0			
6.菜豆	4.0	160	9.3	3.3			
7.ばれいしょ	8.0	200	140	5.0			
8.てんさい	15.0	21.3	138	5.0			
9.牧草(チモシー)	15.0	15.0	15.0	2.3			
10.たまねぎ	15.0	31.0	150	2.8			